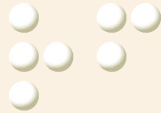
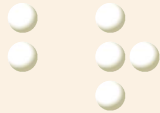


いちごー会とちぎ大会

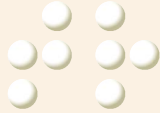
第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

かいさいきほんけいかく がいようぼん 開催基本計画 概要版

れいわ ねん がつ にち ど がつ にち げつ
令和4(2022)年10月29日(土)~10月31日(月)

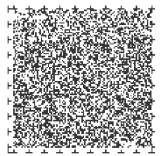


とちまるくん



音声コード
読み上げ装置にて、
内容を音声で聞く
ことができます。

いちえ こくたい たいかいじっこうしいんかい
いちごー会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会



ぜんこくしょうがいしゃ たいかい 全国障害者スポーツ大会とは…

しょうがい せんしゅ たの たいけん こくみん しょうがい たい りかい ぶか
障害のある選手が、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、
しょうがいしゃ しゃかいさんか すいしん もくてき まいとし こくみんたいいくたいかい あと かいざい
障害者の社会参加を推進することを目的として、毎年、国民体育大会の後に開催されている
しょうがいしゃ ぜんこくてき さいてん
障害者スポーツの全国的な祭典です。

たいかい 大会のあゆみ

ぜんこくしょうがいしゃ たいかい ねん べつべつ かいざい ぜんこくしんたいしょうがいしゃ
全国障害者スポーツ大会は、2000年まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ
たいかい ぜんこくてきしょうがいしゃ たいかい どうごう ねん だい かいたいかい みやぎけん かいざい
大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合して、2001年に第1回大会が宮城県で開催
ねん かいざい だい かいたいかい せいしんしょうがい ひと せいしききょうぎ
されました。2008年に開催された第8回大会から精神障害のある人のバレーボールも正式競技
しんたい ちてき せいしん しょうがい ひと いったい おこな げんざい かたち
になり、身体・知的・精神の障害のある人が一体となって行う現在の形となりました。

だい かいぜんこくしょうがいしゃ たいかい 第22回全国障害者スポーツ大会とは

たいかい あいしょう 大会の愛称 いちごー会とちぎ大会

せいざんりょう はんせいき わた にほんいち とちぎけん おうこく おこな たいかい ざんか
「いちご」の生産量が半世紀に渡って日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる大会に参加する
ひとびと けんみん ところ さまざま であ こうりゅう ぶか あら ゆめ
すべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い、交流を深めることで新たな夢や
かんだう う めざ
感動が生まれることを目指します。

たいかい 大会のスローガン こくたい きょうつう (国体と共通) 夢を感動へ。感動を未来へ。

たち ゆめ む つ すす すがた たいかい ざんか ひと かんだう あた
アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。その
かんだう みらい ひと ちいき ねが
感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられて
います。

こくたい きょうつう イメージソング(国体と共通)

いちご 「いちごー会」

さくし さつきよく かざぎあつし かしょうしゃ
作詞・作曲：笠木敦志 歌唱者：サトウヒロコ
へんきょくしゃ たべい
編曲者：田部井とおる

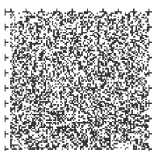
ぜんこくこうぼ けん おうぼさくひん えら
全国公募152件の応募作品から選ばれました。

さいてん
スポーツの祭典にふさわしい、リズムがスポーツ
てき さわ した あか げんき
的で爽やかで、親しみやすく、明るく元気になれる
きょく きょく あ いちご
曲です。曲に合わせた「いちごー会ダンス」も
しちよう
あります。それぞれ、HPやYoutubeで視聴・ダウン
ロードすることができます。

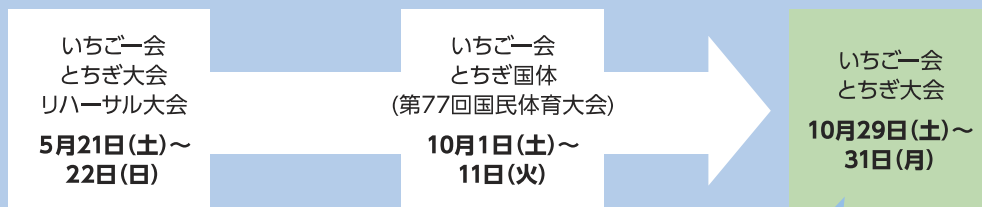
- マスコットキャラクター
- こくたい きょうつう
(国体と共通)



とちまるくん



たいかいにってい
大会日程 れいわ 令和4(2022)年 ねん



10月27日 (木)	10月28日 (金)	10月29日 (土)	10月30日 (日)	10月31日 (月)	11月1日 (火)
・選手団来県	・公式練習会 ・全国代表者会議 ・監督会議 ・選手団来県	開会式	競技 オープン競技	閉会式	・選手団離県

かいさいきほんほうしん
開催基本方針

「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」で開催されるいちご一会とちぎ大会は、東京パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、スポーツを通じて障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与し、障害のある人もない人も共に生きる社会を目指すとともに、とちぎの元気を全国へ発信する大会を目指し、次の4つを基本方針とします。

おも こころ ひろ
思いやりの心を広げよう！

障害のある人もない人も共に支え合う
共生社会をつくるために、思いやりの心を
はぐくみ広げる大会にします。

かんだう みらい
感動を未来へつなげよう！

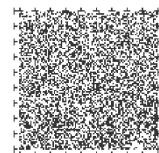
すべての人が可能性にチャレンジし、
新たな感動と出会い、みんなに勇気を
与えることで、人も地域も輝く大会にします。

げんき とど
とちぎの元気を届けよう！

とちぎの魅力・実力をアピールすると
ともに、すべての県民がとちぎの元気と
おもてなしの心を全国に発信し、日本中
が元気になる大会にします。

ちから じっかん
スポーツの力を実感しよう！

障害のある人がスポーツの喜び、
楽しさを享受し、競技力の向上を図る
とともに、障害の垣根を越えた仲間
を増やせる大会にします。



けんみんうんどう 県民運動

けんみんひとり
県民一人ひとりが「いちご一会とちぎ大会」への理解を深め、様々な形で参加、協力することにより、県民すべてが夢と希望を抱き、感動を分かち合うとともに、来県者をおもてなしの心で温かく迎える大会の実現を目指して展開します。

また、「いちご一会とちぎ大会」の開催を契機に、障害者スポーツのより一層の普及・振興を図るとともに、障害の有無に関わらず県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現を目指すことを目的とします。



いちこの国から力を合わせて!

すべての県民が大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げましょう。



ご当地パワーでおもてなし!

すべての県民が来県者を心のかもった温かいおもてなしで迎えましょう。



一緒にスポーツ楽しもう!

すべての県民がスポーツとの様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しみましょう。



笑顔いっぱい 栃木の魅力を伝えよう!

すべての県民が来県者との交流を通じて、多彩な栃木の魅力を発信しましょう。

ボランティア

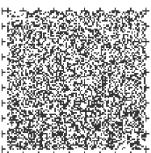
大会参加者や一般観覧者に対して、心のかもったボランティア活動を展開するため、「いちご一会とちぎ国体」と連携して各種ボランティアを募集します。



大会運営ボランティア

大会参加者や観客をおもてなしの心でお迎えるため広く県民から募集します。

種別	内容	人数
案内・介助	総合案内所などでの案内・誘導・介助	3,500人
会場整理	観客の改札、案内、誘導等	
会場美化	飾花の管理、会場内の清掃等	
会場サービス	弁当・飲み物の配布等	
式典	開・閉会式の式典補助	
ふれあい広場	ふれあい広場の運営補助等	



じょうほうしえん
情報支援スタッフ

ちょうかくしょうがいしゃ じょうほうほしやう ほか ひと わ じょうほうていきやう おこな
聴覚障害者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、
かんけいだんたいどう きやうりやく え かくしゅじょうほうしえん ようせい
関係団体等の協力を得ながら、各種情報支援スタッフを養成します。

種別	内容		人数	
手話	手話による情報の提供及びコミュニケーション保障		400人	
要約筆記	手書き	ノートテイクやホワイトボードを使用した情報の提供	150人	200人
	パソコン	パソコンに入力したデータ情報による情報の提供	50人	
合計			600人	



せんしゅだん
選手団サポーター

たいかい さんか せんしゅおよ やくいん かいじょ ゆうどうとう おこな たいかいうんえい えんかつか ほか
大会に参加する選手及び役員への介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図ると
ともに、選手との交流を通して次世代の若者が障害のある人への理解を深め、大会終了後も
さまざま ちいき かつやく
様々なボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、
がくせいなど こうせい せんしゅだん ようせい
学生等で構成する選手団サポーターを養成します。

種別	内容	人数
選手団サポート	選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等	800人



じっしきやうぎ
実施競技

とどうふけん していとし やく せんしゅ さんか
67の都道府県・指定都市から約3,640人の選手が参加

身 = 身体障害者が出場できる競技 知 = 知的障害者が出場できる競技 精 = 精神障害者が出場できる競技

せいしききやうぎ こじんききやうぎ
正式競技(個人競技)

りくじやうきやうぎ
陸上競技

身 知

そう はしりはばとび ほうがんなげ いっぱんでき しゅもく くるまいす でんどう
100m走や走幅跳、砲丸投などの一般的な種目のほかに、車椅子や電動
くるまいす しょうがいぶつ さ きそ きやうぎ
車椅子で障害物を避けながらタイムを競うスラロームなど、ルールや競技
ようぐ くふう ぜん しゅもく おこな
用具を工夫した、全15種目を行います。



すいえい
水泳

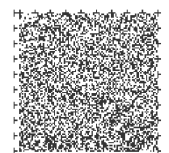
身 知

じゆうがた せおよ ひらおよ かく しゅもく しゅもく
自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライでは各25・50mの種目とリレー2種目を
じっし しかくしょうがい せんしゅ とし かべ
実施します。視覚障害のある選手には、ターンの時に壁にぶつからないよう、
あんぜん ぼう つか かべ いち つた くふう
安全な棒を使って壁の位置を伝えるなどの工夫がされています。



アーチェリー 身

ゆみ しゅるい ぶもん ぶもん
弓の種類によりリカーブとコンパウンドの2部門があり、それぞれの部門
に50・30mラウンドと30mラウンドがあります。選手はそれぞれの障害に
おう くり ゆみ ひく う かた くふう
応じて、口で弓を引く射ち方をするなどの工夫をしています。



たつきゅう 卓球 身 知 精 [サウンドテーブルテニス 身 を含む]

一般的な卓球とサウンドテーブルテニスの2種目を実施します。
サウンドテーブルテニスは、視覚障害のある方の卓球で、金属球の入った球の首を頼りにプレーします。卓球と異なり、ラバーのないラケットを使用して、球を転がし、ネットの下を通してプレーします。



フライングディスク 身 知

アキュラシーとディスタンスの2種目を実施します。アキュラシーは、直径91.5cmの円を狙って10投し、通過した数によりスローの正確さを競う種目です。ディスタンスは、ディスクを3回投げ、最も距離の遠い着地点までの飛距離を競う種目です。



ボウリング 知

ルールは一般的なボウリングと同じで、個人戦のデュアルレーン(アメリカン)方式による4ゲームトータルで順位を決定します。



ポッチャ 身

重度障害のある方の社会参加を目的に2021年の三大会から正式競技に追加されます。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のボールをそれぞれ6球ずつ投球し、いかに近づけるかを競います。



せいしききょうぎ だんたいきょうぎ 団体競技は7チーム(ブロック代表+開催県)で競います。

バスケットボール 知

ルールは一般的なバスケットボールと同じで、男女別に10分間のピリオドを4回で競い合います。



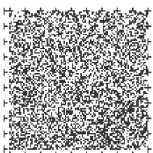
くるま 車いすバスケットボール 身

一般的なバスケットボールとほぼ同じルールで競技専用の車椅子に乗って行きます。ダブルドリブルはありませんが、ボールを保持しながら車椅子を3回連続で押したらトラベリングとなります。選手一人ひとりの障害の程度に応じて持ち点を付け、合計点が14点以内になるようにチームを編成します。



ソフトボール 知

一般的なソフトボールとほぼ同じですが、男女の区別なくチームを作ります。インニングや試合時間に制限があるほか、振り逃げやスクイズ、盗塁がないことも特徴です。



グランドソフトボール **身**

ソフトボールのルールに準じて行います。1チーム10名でチームを作り、そのうち4名以上がアイシェードを付けた全盲の選手です。ボールはハンドボールと同じ規格のボールを使用します。投手は、全盲の選手で、捕手が手を叩く音を頼りに転がして投球します。打者は、ボールの転がる音を頼りに打撃をします。



フットベースボール **知**

ソフトボールのルールに準じて行い、男女の区別なくチームを作ります。ボールはサッカーボールを使用します。投手は股下からボールを転がし、打撃は蹴って行います。



バレーボール **身** **知** **精**

身体(聴覚)障害部門、知的障害部門、精神障害部門に分かれて競技を行います。身体(聴覚)障害部門では、男女別に行われ、意思の疎通は手話や口話、身振り手振りなどで行います。知的障害部門では、男女別に行われ、ネットの高さは中学生と同じです。精神障害部門では、男女混合で行われ、ソフトバレーボールを使用します。



サッカー **知**

一般的なサッカーのルールと同じですが、前後半30分ずつの合計60分で行います。



オープン競技 **きょうぎ** 障害者スポーツの普及・振興のため、正式競技以外に実施する競技

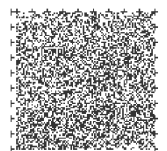
卓球 **身** **知** **精**

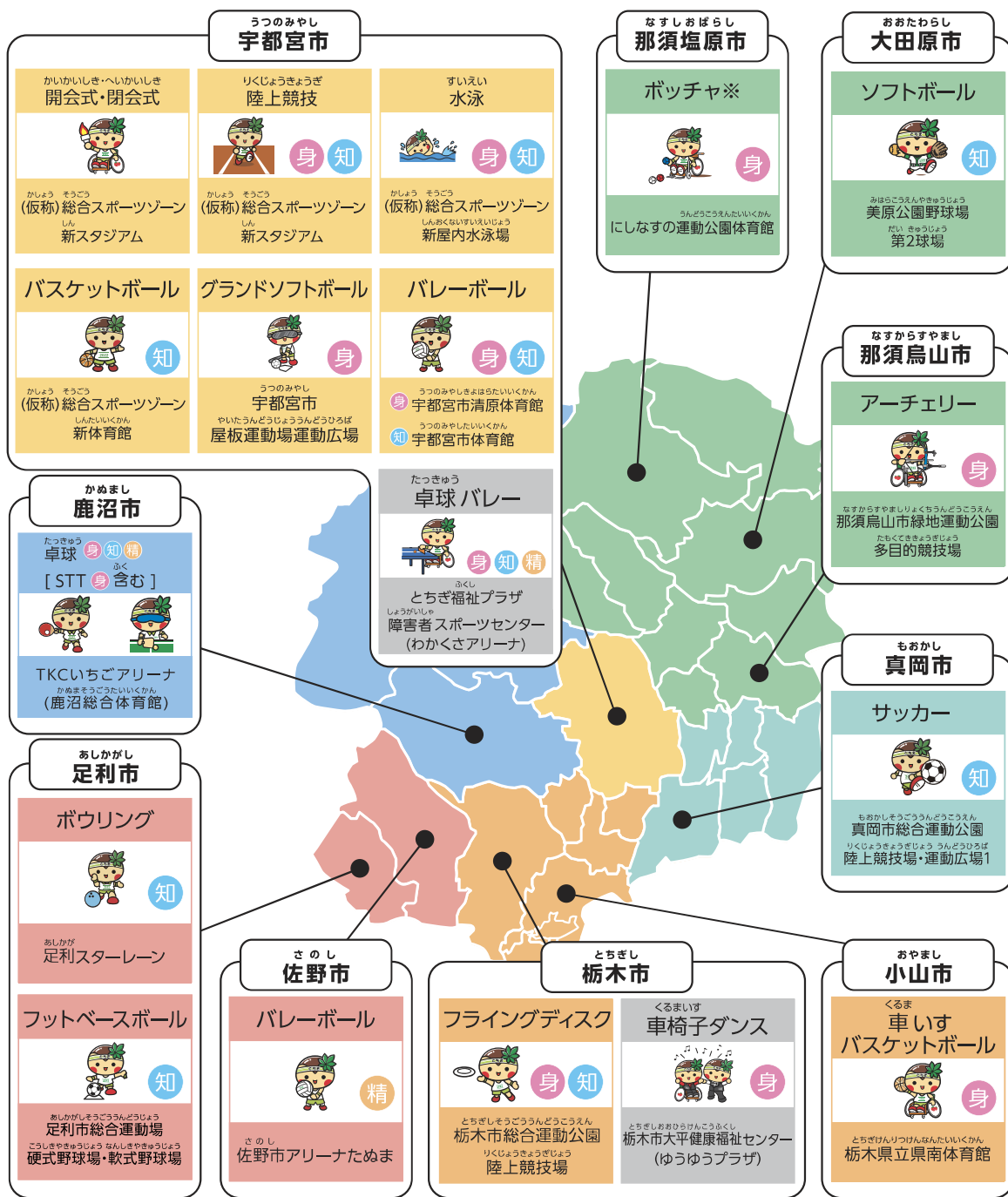
バレーボールを基に考案され、ネットを挟んで1チーム6人ずつがイスに座って卓球ボールを転がし、ネットの下を通すことで相手コートへ3打以内で返します。



くるまいす **身** 車椅子ダンス

車椅子に乗っている人を“ウィルチェア・ドライバー”、立ち役の健常者を“スタンディング・パートナー”と呼び、ペアを組んで社交ダンス(ボールルームダンス)を踊ります。





せいしききょうぎ きょうぎ 正式競技(14競技)

- 身** = 身体障害者が出場できる競技
 - 知** = 知的障害者が出場できる競技
 - 精** = 精神障害者が出場できる競技
- = オープン競技(2競技)
- ※2021年から正式競技に追加

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会

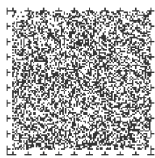
(栃木県国体・障害者スポーツ大会局内)

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 栃木県庁舎北別館3階

TEL 028-623-3844 FAX 028-623-3527

HP <http://www.tochigikokutai2022.jp/>

HP Facebook Twitter instagram



大会の運営・骨子をまとめた開催基本計画は、大会HPに掲載しています。(音声版もあります)



※この冊子は障害者就労支援事業所からの優先調達により印刷しています。

令和2(2020)年3月発行